

またですか、、、カルピスさん。

(39) 2013年(平成25年)11月12日(水曜日) 北 國 新 聞 [全国広告]

アレルギーケア 最新NEWS

アレルギーの専門家6人による最 注目のアレルギー対策

アトピー性皮膚炎 通年性鼻炎 花粉症

アレルギーケアフォーラムが 小児・成人アトピー性皮膚炎の 最新の研究成果を発表

池澤善郎 先生
稲垣直樹 先生



●アレルギー発症のメカニズム(池澤)

アレルギーは、免疫系のバランスが崩れることで起こります。Th1とTh2のバランスが崩れると、アレルギーを発症します。

●小児アトピー性皮膚炎のメカニズム(稲垣)

小児アトピー性皮膚炎は、免疫系のバランスが崩れることで起こります。Th1とTh2のバランスが崩れると、アレルギーを発症します。

●アレルギーケアフォーラムの開催概要

アレルギーケアフォーラムは、アレルギーの最新研究成果を発表する場です。小児・成人アトピー性皮膚炎の最新の研究成果を発表しました。

アレルギーケアフォーラムは、アレルギーの最新研究成果を発表する場です。小児・成人アトピー性皮膚炎の最新の研究成果を発表しました。

今度は、6人の医師や研究者、支援ネットワークと団体でのアピール。で、内容はというと、前回の内容と殆ど変化がない。というより、一段と悪意が見えてきた。

1 発症のメカニズム・・・これまで西洋医学で報告されている Th1-Th2 のバランス論。そして、発症人数においても結果論。なぜ発症するのが一番重要なのでは？今の生活の中で「皮膚バリア」が傷つけられて、アレルゲンが侵入する？そんなの誰でもわかっているけど、なぜバリアが傷つけられるかが問題なんでしょう、どんな生活だったら傷つくの？ってことでしょう。そして、この乳酸菌が Th のバランスの対策になるのではと思っています。って、なりませんではないの？自信がないのね。(医学博士 池澤善郎医師)

2 アトピーの慢性化においては、複数の因子が絡むことで増幅される。このループを断ち切ることが軽減の秘訣である。と、、、その増幅因子とは？明らかにされていないし、ステロイド剤がその増幅因子とわかっているのに報告しない。この先生も駄目だね。お金で動く先生かも・・・。(稲垣直樹先生)

3 小児アトピーに続き成人アトピーにも有効性と謳った記事・・・小児でも効果あるの

だから大人も一緒でしょう。大人だけメカニズムが違うのだろうか？そして、主人公の「鳥居新平医師」のデータを持っての発表。そのデータも4歳から15歳の20人のデータのみで、ここでもTh1の過剰反応抑制のみの処置となっている。20人各々が、ステロイド剤使用なのか否か、どんな治療を行ってきたのか、どんな処置を今行っているのか等々で大きく変化するものだ。おそらく、鳥居氏のデータもステロイド剤処置並行の方々が多いデータなのでしょう。ただただ鳥居医師擁護のコメントのようだ。(相原道子医師)

4 免疫システムに働きかける「L-92乳酸菌」と題して発表されているが、そのメカニズムは全くない。「リポタンパク質」が免疫抑制システムに関与しているというが、そのメカニズムもないし、理解できない。どんな菌体にもリポタンパク質はあるが、なぜこの乳酸菌が良いのか・・・全く説明できていない。何だか甘い・・・いくら講演料と出演料なのだろう。(橋本雅仁医師)

5 そして、アレルギー支援ネットワークの中西常務理事。建前は最高の謳い文句となっている団体ではある。しかし、全ての運営は国と商品を供給する企業となっており、HPを参照しても、ステロイド剤推進の団体といえる。その団体に協賛しているカルピス社・・・それでいいのだろうか？厚生労働省 文部科学省、日本アレルギー学会・・・何処から見てもステロイド剤推進団体しか思えない。そのサポートシステムもアトピー大学を構築してステロイド剤処置の推進大学となっている。この運営費用の殆どは、カルピス社1000万円、寄付補助金で1000万円、その他300万円などで運営の半分をカルピス社が補っている。カルピス社がなければ運営できないのだ。で、乳酸菌の推進、ステロイド剤の推進・・・どうなのこれ。愛知を中心に全国へアトピー大学拡散に走っているが、騙されるんだろうねえ、みんな。自分の子供は自分で守らないと、こんな支援ネットワークに騙されたら大変だよ。

6 最後の締めくくりに、主人公の鳥居新平医師・・・成人アトピーへの有効性は、非常に綺麗なデータが出ており・・・え、、本当？どんな処置をしたの？って聞きたくなるけど、まさかステロイド剤併用ではないでしょうねえ。その主人公がこの乳酸菌には期待しているって、どうなの？自分でやるんでしょ。人任せでやる問題ではないでしょう。20人って、少なくない？子供も半分いるのでしょうかから、、多くても10人？・・・そんなデータにはならないでしょうね、、、その個人状況も一緒ではないのだから・・・これでは、昔、竹原教授がやったデータと全く変わらないのではないのでしょうかねえ。ま、今回はたらふくお金をもらっているから・・・やめたでも済むだろうけどね。この内容は本当に信用できない。支援ネットワークが出ていなければ少しはまともだなあと思ったけど、

全く信用できない鳥居先生だね。

いや、はや、、、当方から見れば子供騙しもいいところだ。これだけの大枚を払って、多くの国民を騙す厚生官僚と全く一緒の行動としかいえない。いや、この流れからすれば、患者なんてどうでもいいの、売ればいいのでしょう。本当に国民を助け、自社も利益を得たいのであれば、もっと違う研究と方法が必要と思う。泥まみれになって、末端と向き合って這いずり回って、一人一人の子供を助けていくことが、自社の反映にも繋がるのだと思うが、、、負け犬の遠吠えかな。いや、まだ俺は負けていない。世界一の克服者輩出と世界一の理論は持ち合わせており、経験も誰にも負けない・・・って、やっぱ遠吠えだね。

アトピーと乳酸菌理論は、誰もが「何でアトピーと長が関係あるんだよ」と言っていた 20 数年前から確立している先駆者だよ。教えてもらいたいのであれば、、、無料で教えるよ。社会の為に活用するのであればね、、、カルピスさん。